

たたかう労働組合・回転寿司ユニオンに総結集して、労使関係正常化闘争を完遂しよう！

労使関係の正常化をめざして

20

2026/5/8

編集・発行：回転寿司ユニオン

はま寿司の企業内組合、ホームページで回転寿司ユニオンを名指し 恥知らずにも「未払い賃金の支払いは『はま寿司ユニオン』の成果」などと記述

はま寿司の企業内組合のホームページが更新され、トップページに「『回転寿司ユニオン』から過去の遅刻支払いに関する葉書が店舗に到着した件について」なる一連の記述が掲載された。一応「はま寿司ユニオン 委員長」名で掲載されているが、句読点や漢字、主述に至るまで支離滅裂の文章であり、ところ間違えば「怪文書」とも呼ばれかねないような代物である。

ここでは、「(当該はがきは) はま寿司ユニオンが発刊したものではありません」とか「回転寿司ユニオンは、はま寿司ユニオンと一切関係ございませんのでご注意ください」などの至極当然の事実のみならず、「勤怠1分管理(出勤時、退勤時)、遅刻の過去分支払いについては、はま寿司ユニオンの要求により実現したものです。」という看過できざる一文が含まれている。

未払い賃金の支払いは、昨年6月に回転寿司ユニオンが要求し、同年8月の回答で会社から一定の回答が示され、その後実現したものである。これは、12月のシステム改修までの過渡期に、勤怠修正書の提出をもって1分単位計算に応じる臨時の運用が、回転寿司ユニオンの組合員を対象に先行実施されたことから明らかである。

企業内組合は、2015年の結成以降、10年にもわたって会社の違法な運用を放置・黙認していたのだ。それを今更、自分たちの成果だと喧伝する態度は、恥も外聞も捨てたものといわざるを得ない。激しい憤りをおぼえる。

(組合員寄稿) 盗人猛々しい御用組合幹部 ～はま寿司ユニオンの異常性を社会へ明らかに！～

※本件にかんして、ともに未払い賃金獲得のためにはま寿司会社との交渉に臨んだS組合員からの怒りの寄稿が届いたので、以下に一部を掲載する。

はま寿司ユニオンのホームページに「『回転寿司ユニオン』から過去の遅刻支払いに関する葉書が店舗に到着した件について」と題する委員長名の文章が掲載された。

まず私たち回転寿司ユニオンを「外部ユニオン」といつているが、「外部ユニオン」なる言葉は一般的には使われていないし「内部ユニオン」という言葉もない。いったいなにを基準に「内部」と「外部」を分けているのであろうか。会社の内と外ということであればわが組合が「外部」ということにはならない。なぜなら現にはま寿司会社内部にわが組合の組合員が存在し、組合組織があるからである。はま寿司ユニオン幹部は、回転寿司ユニオンの組合員をはま寿司でももにはたらくなかまではなく「外部」の人間として見ていないのであろうか。もしそうであるならば、「はま寿司ユニオンにあらざれば人にあらず」という驚くべき傲慢な体質であることを露呈したことになるであろう。むしろ私たち回転寿司ユニオンは、たとえ今はま寿司ユニオンに在籍していてももにはたらくなかまとして尊重しその要求の実現のために奮闘するものである。

はま寿司ユニオン幹部はもしかすると、いわゆる「企業別組合」に対して、企業の枠を超えて労働者を組織する「産業別組合」や「一般・合同労働組合」を指して「外部ユニオン」と呼んだのかもしれない。幹部諸氏はこうした労働組合運動の基本的用語を知らなかったためなのか、もしくは知っているも「外部」という言葉を使うことによって回転寿司ユニオンを企業秩序を破壊する外部かく乱者として仕立て上げるために使わなかったのであろう。いずれにせよ「外部ユニオン」などというみょうちくりんな言葉を作り出して公式ホームページに載せてしまうセンスが疑われる。

次に問題となるのが「勤怠1分管理(出勤時、退勤時)、遅刻の過去分支払いについては、はま寿司ユニオンの要求により実現したものです」という一文である。いったい何をねげれたことを言っているのであろうか。私たち回転寿司ユニオンの結成以前からはま寿司ユニオンは存在していたのにもかかわらず、最近になってようやく要求したと言いたいのか。そうであるならば怠慢である。さらにわが組合が会社に要求しているまさにその時に要求をだして実現したのではなかったか。わたしたちのたたかいがなかったらいつまでも要求など出していなかったであろう。いまさら言われても上記のような疑念はぬぐえない。もしはま寿司ユニオン独自の闘いをやって実現したのであれば、その過程を明らかにすべきである。どうして今このタイミングでこの要求をだし、どういう交渉をやったのか正々堂々いってみるがいい。はま寿司ユニオン委員長よ！

また奇怪なのが「また、皆さんが加入しているはま寿司ユニオンは追加の入会料や組合費を別途払う事はございません」という文章である。まず文の終わりに句読点がない、入会料や組合費を払うという動詞の主語がはま寿司ユニオンになっているように読めるという基礎的な文章の書き方に問題があるが、文脈から推測するとおそらく委員長は「皆さんははま寿司ユニオンに加入している限り追加で組合加入金や組合費を払う必要はない」ということを言いたかったのであろう。しかし、その場合でもはま寿司ユニオンの組合費にさらに上乗せして回転寿司ユニオンの組合費を払わなくてはならないかのような誤解を招く恐れがある。回転寿司ユニオンに入ればはま寿司ユニオンからは脱退することになるのであり、すなわちはま寿司ユニオンの組合費は払わなくて済むのだから「別途払う」というのはおかしい表現である。訂正すべきではないか？

このように、こんなに短い間関わらず多くの問題点をはらんだ文書を平然と発出してしまふのが、現在のはま寿司ユニオン幹部の現実なのである。さらにこれまで10年近く「組合運動」をやってきたというのに、組合員の切実な要求に背を向けてまともに賃金交渉すら行わず、ひとりて悩み、泣き、誰にも相談できず職場を去っていった労働者を無視し続け、拳句の果てには回転寿司ユニオンに勇気をもって加入したなかまに店舗まで押しかけて脱退勧奨をしているのがこのはま寿司ユニオンという組織なのである！これのどこが「労働者が主体となって自主的に労働条件の維持改善その他の経済的地位の向上を図ることを主たる目的として組織する団体」(労働組合法第2条)といえるのであろうか！？いったい誰が経営と癒着して労働者をいじめる組織に「安心して」連絡などできるというのか？私たちは引き続きはま寿司ユニオンの異常性を広く社会に明らかにし、歪んだ労使関係を正常化するために断固としてたたかいぬく決意である。